換気・通気の確保と雨仕舞いを両立

ハウゼコ

パラペット専用換気部材一体型笠木板金
▽アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ
▽アンタレス・ホール・パラペットキャップ

日本の木造住宅の屋根は従来、切妻や寄棟などの形状が一般的だった。だが、近年では、ニーズの多様化に伴い、本来はRCの意匠であるキューブ型等の木造住宅が増え、陸屋根等の水平面の屋根も多く見られるようになった。屋上や陸屋根の端部には手すり壁（パラペット）を設けるが、通気工法を採用してパラペットにも通気層を設けた場合に、漏水や結露事故が発生した事例も少なくない。

こうした事故を防ぐことを狙い、住宅用換気・通気部材メーカーの㈱ハウゼコ（大阪市、神戸睦史社長）はこのほど、パラペット専用の換気部材一体型ホールレス笠木板金「アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ」を開発。1月に新発売した。換気部材「アンタレスミニ」と笠木板金を一体化することで、施工性にも優れ、換気・通気を確保しながら雨仕舞いすることを可能にした。

パラペット天端の脳天釘打ちを無くし、下地側面からのみ釘打ちする「アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ」のほか、設計・施工者のニーズに応じて選択できるよう、脳天釘打ちを残した「アンタレス・ホール・パラペットキャップ」もラインアップした。こちらも脳天の釘穴周辺部を立ち上げ、雨水の浸入を防ぐ構造になっている。

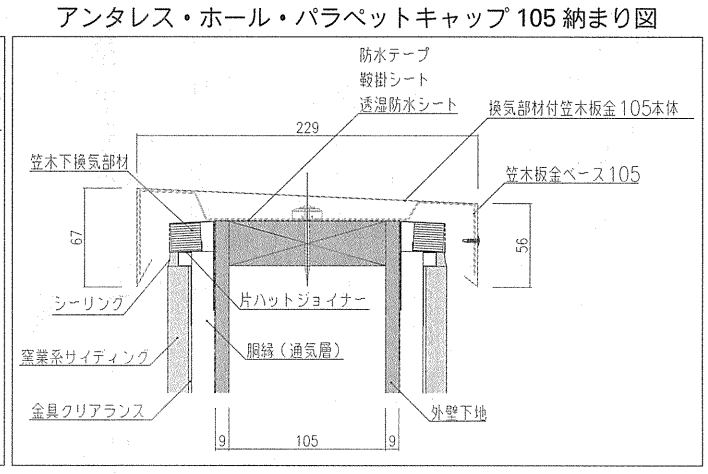
これまで、パラペットの笠木に関しては規格品が無く、また笠木まわりの納まりについても図面に書かれていないことが少なくない。そのため、板金業者が現場ごとに製作して納めることがほとんどだ。

その点、「アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ」「アンタレス・ホール・パラペットキャップ」を使用すれば、現場ごとの笠木板金の製造を省略し、パラペットの笠木まわりの納まりを標準化することが可能になる。

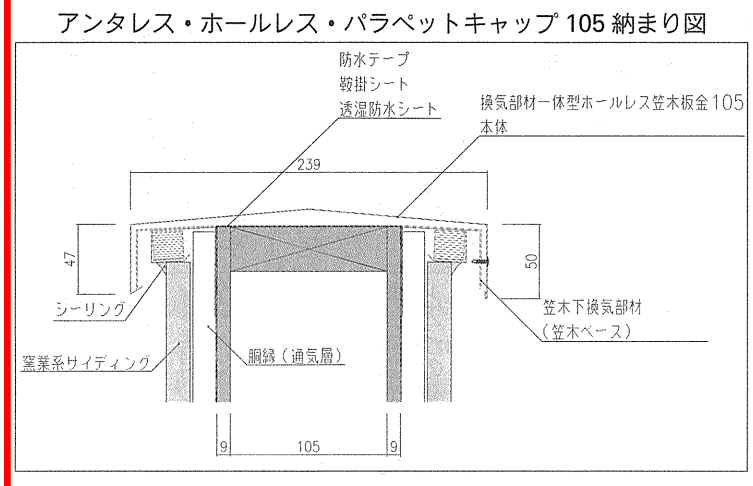
パラペット周辺部は、大工やサイディング事業者、板金事業者など複数の事業者が関わるが、シンプルな構造で施工性が高いため、誰でも施工できる。

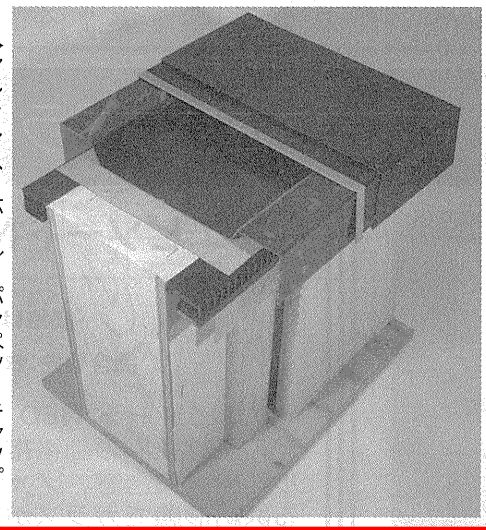
「パラペットの笠木部分の納まりに関しては見落とされがちな部分」と神戸社長。「換気部材一体型の笠木板金によって、戸建木造住宅の換気・通気を確保するとともに、劣化の原因になる漏水・結露のリスクを回避し、住まいの長寿命化に寄与することができれば」などと話している。

アンタレス・ホール・パラペットキャップ105納まり図

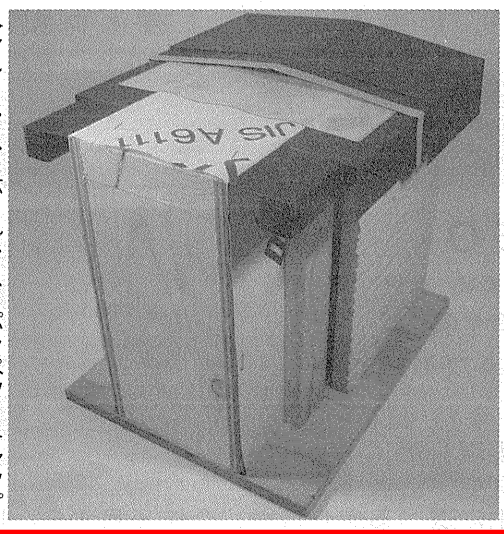


アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ105納まり図





→アンタレス・ホール・パラペットキャップ



→アンタレス・ホールレス・パラペットキャップ

自立研関東ゼミ　本年第1回目は2月28日

改訂温暖地版「自立循環型住宅への設計ガイドライン」指定講習会

「自立循環型住宅への設計ガイドライン」をベースに「省エネ×快適な住まい」づくりを実践するため、分析・研究・普及活動を行っている「自立循環型住宅研究会」（自立研）の関東支部は、本年も関東ゼミを開催する。全4回。①温熱・省エネの基本を理解する②自立循環型住宅への設計ガイドラインを理解する③事例の分析結果を理解する④自ら実測・分析する――というステップを踏むことで、実務者のさらなるレベルアップを図り、定量的な視点から「省エネ×快適な住まい」づくりの実践と普及を目指す。

本年第1回目は「温暖地版自立循環型への設計ガイドライン」講習会として2月28日に開催。建築環境省エネルギー機構（IBEC）の改訂温暖地版「自立循環型住宅への設計ガイドライン」を取得するための指定講習会。岐阜県立森林文化アカデミーの辻充孝・准教授が、同設計ガイドラインを解説する。

同設計ガイドラインは、住宅に対する様々な省エネ設計手法や技術、エネルギー消費量の定量的な削減効果などが掲載された、現在の省エネ住宅設計の基礎となっている必携本。指定講習会を受講しなければ入手できない。

【日時】2月28日（火）10時～17時
【場所】貸教室・貸会議室 内海（東京都千代田区三崎町3-6-15）
【参加費】一般1万円、会員8000円（改訂温暖地版設計ガイドラインテキスト代含む。テキスト持参者には5000円返却）
【定員】70人（先着順、申込締切2月20日）
【申込・問合せ】事務局（ささ木暮らし設計・佐々木努）TEL・FAX 048-729-2107
Email：kantou@jji-k.com
※終了後懇親会を予定。

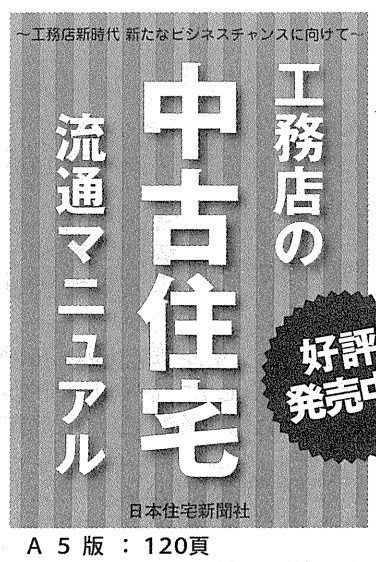
第2～4回スケジュール
▽第2回：4月25日「パッシブデザイン最前線（仮称）」【講師】野池政宏・自立循環型住宅研究会・住まいと環境社代表【内容】パッシブデザインの最新情報&考察。将来未来における指針を解説。
▽第3回：7月某日（未定）「夏旨住宅解説」【講師】前真之・東京大学大学院准教授【内容】地球温暖化により今後は暑さに対する研究が重要となり、暑さの諸要因を解明しながらその対策を検討する。
▽第4回：10月11日「実測・分析事例発表&検討ワークショップ」【内容】参加者による実測・分析事例発表会。発表と意見交換を通じて理解を深め、レベルアップを図る。
【2～4回参加費】▽会員＝各回申込：3000円／回、一括申込8000円（1000円割引）▽一般＝各回申込：5000円／回、一括申込1万4000円（1000円割引）

中古住宅を制す工務店は地場を制す

中古住宅流通の仕組みを解説する基礎的なビルダー向け小冊子

工務店の中古住宅流通マニュアル

リフォーム・リノベーションの先にあるものこそ、中古住宅流通だ！
新たな流れをこの一書から始めよう



■主な内容■
はじめに「工務店にとっての中古住宅とは」
第1章　中古住宅流通に向けた工務店の取り組み方とは
　1．インスペクションと工務店の取り組み方
　2．不動産業界とのうまい連携→これからの不動産業界との関係は
　3．事業としてみる工務店の中古住宅流通
　4．ストック循環型社会に対応する工務店の再販の取り組み方
　5．モデルケースから見える工務店の既存住宅（中古）への取り組み方とは？
第2章　中古住宅流通に伴う工務店の疑問点と回答（Q&A）
第3章　省エネ改修の現状
巻末資料
①中古住宅に伴う法律、税金、助成金など
②用語集
③現在の中古住宅流通ネットワークの関連団体・企業

A5版：120頁
定　価：780円（本体価格）＋税
発　行：㈱日本住宅新聞社

お申込みはFAXで
03-3823-2566

日本住宅新聞社
管理部　書籍販売担当 行

冊　数	
御社名	
ご氏名	
御住所	
TEL	
FAX	